

## 「読書ネットワークをつくりましょう！～しが子ども 読書活動推進ネットワークフォーラム～」結果報告概要

本県では、今年度から高校生読書率向上プロジェクトとして「ビブリオバトル」の普及を行っているところですが、本取組をより効果的なものにするとともに、社会全体でビブリオバトルなど子どもの読書活動を推進していく観点から、文部科学省委託事業「しが子ども読書活動推進ネットワークフォーラム」を開催しました。

県内の読書ボランティア団体等の知見を広げ、活動のスキルアップを図るとともに、ビブリオバトルによる新たな子どもの読書活動啓発方法を学ぶことができました。

【日 時】 1月11日（土） 13：30～16：45      \*参加者103名

【会 場】 草津市立まちづくりセンター

### 【内 容】

(1) つながる・つなげる～子どもと本・人と人～汐崎順子先生の子どもの読書講座  
13：30～14：45

全国各地で読書ボランティア講習会の講師も務め、慶応大学等で司書講習のカリキュラムを担当されておられる汐崎順子氏をお招きし、御講演いただきました。

月に1冊も本を読まない、いわゆる不読率が急速に高まる小学校高学年から中学生を対象とした読書啓発という難しい課題に対して、先生は、子どもを知ること、そして本を知ることの重要性をあらためて示されました。また、今年の干支にちなんだ「馬」をテーマとするブックトークを実演していただきました。ある1つの分野を深く掘り下げていきながら、そこからさまざまなテーマをもつ本をつなげていくブックトークは、子どもたちの自主的な読書意欲を喚起するうえで大変有効な手法であることを具体的に説明していただきました。



(2) 谷口忠大先生によるビブリオバトル・ワークショップ  
15：00～16：45

ビブリオバトル発案者である谷口忠大氏（立命館大学情報理工学部准教授）をお招きし、ビブリオバトルを使った子どもの読書活動啓発の方法を学習しました。

谷口先生からは、ビブリオバトルがきわめてシンプルなルールで成り立ち誰でも気軽に取り組めること、また、人を通して本を知り、本を通して人を知ることができる読書コミュニティを形成する場となること等、ビブリオバトルの魅力について、ときにユーモアを交えながら、わかりやすくご説明いただきました。

続いて、立命館大学の学生でビブリオバトル自主ゼミP5のメンバーや、情報理工学部の大学院生3名から、ビブリオバトルの実演を行っていただきました。

質疑応答のコーナーでは、会場からの質問が活発で時間がオーバー気味になるなど、受講者の皆様から積極的な参加をいただくことができました。なお、チャンプ本には、「この寒い時期に読むとさらに背筋も凍る本」と紹介された『八甲田山 死の彷徨』（新田次郎著）が選ばれました。



## 参加者の感想（抜粋）：

### ●「汐崎順子先生の子ども読書講座」について

- ・ブックトークすばらしい。パネルシアターなどを使いブックトークは新しい形かなと参考になりました。
- ・先生の歯切れのいい話とっても楽しかったです。あっという間に時間が過ぎ勉強になりました。
- ・ブックトークのハウツウを分かりやすく紹介してくださいました。
- ・ブックトークというものを初めて知り聞きました。馬をテーマに行われたブックトークはパネルシアターを使っていたので中学生でも聞きやすかったらうと思いました。子どもたちの本の知識を増やすための方法としてとても良いと思いました。ぜひ活用していきたいと思います。

### ●「谷口忠大先生のビブリオバトル・ワークショップ」について

- ・ゲーム性のもつおもしろさと発表アナログ的即興（アドリブ）が非常に人のつながりを生むと感じました。それで、『本』の普及につながる社会的に同様な働きをするすばらしいバトルを考案されたことに拍手です！！
- ・負けたときの精神的にダメージがないのがいいと思った。
- ・谷口先生のお話はテンポもあり、ユーモアがあって楽しく聞くことができました。
- ・おもしろい話でよかった。新しい方法で新鮮でした。学生のデモンストレーションがわかりやすく良かった。
- ・読書ネットワークにはぴったりだと感じました。
- ・説明を聞いている時は「よく考えられたルール」と感心したり、途中「面白いのか？」と思ったりしていたが、実際に見せてもらって本当に面白かったです。今後中高生でもどんどん広がり「スピーチ」と「読書力」と「コミュニケーション」が高まることを期待します。

読書ネットワークをつくりましょう ～しが子ども読書活動推進ネットワークフォーラム～ アンケート結果

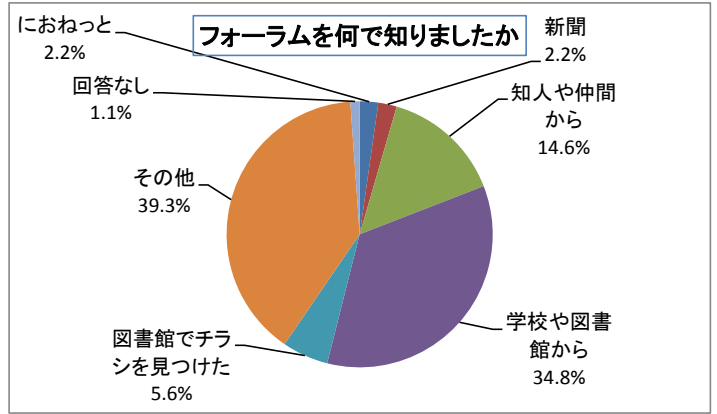
Q1

このフォーラムを何でお知りになりましたか  
(複数回答可)

	方法	人数	割合
1	におねっと	2	2.2%
2	新聞	2	2.2%
3	知人や仲間から	13	14.6%
4	学校や図書館から	31	34.8%
5	図書館でチラシを見つけた	5	5.6%
※6	その他	35	39.3%
7	回答なし	1	1.1%
	合計	89	100%

※6 その他回答の内容:

・教師塾...24名 ・教委(生涯学習課)からの紹介...2名 ・団体からの紹介

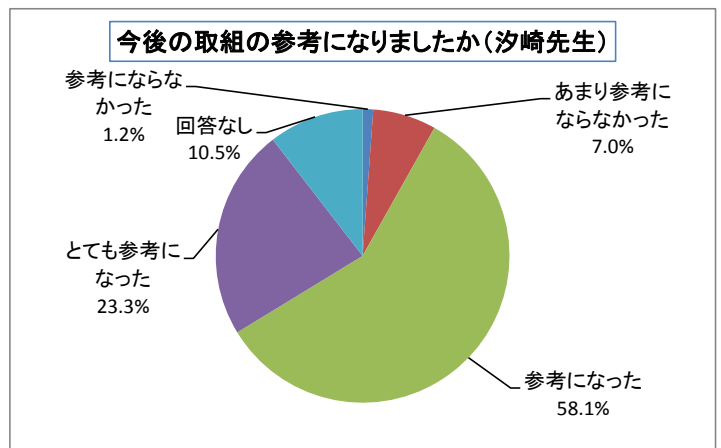


Q2

今後の取組の参考になりましたか

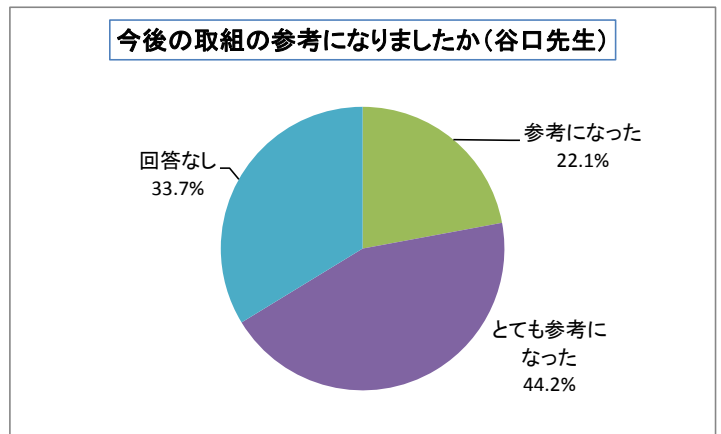
(1) つながる・つなげる～子どもと本・人と人～  
～汐崎順子先生の子ども読書講座～

	満足度	人数	割合
1	参考にならなかった	1	1.2%
2	あまり参考にならなかった	6	7.0%
3	参考になった	50	58.1%
4	とても参考になった	20	23.3%
	回答なし	9	10.5%
計		86	100%



(2) 谷口忠大先生によるビブリオバトル・ワークショップ

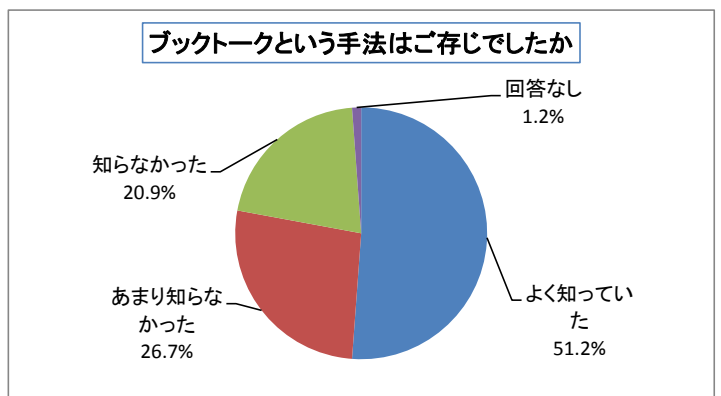
	満足度	人数	割合
1	参考にならなかった	0	0.0%
2	あまり参考にならなかった	0	0.0%
3	参考になった	19	22.1%
4	とても参考になった	38	44.2%
	回答なし	29	33.7%
計		86	100%



Q3

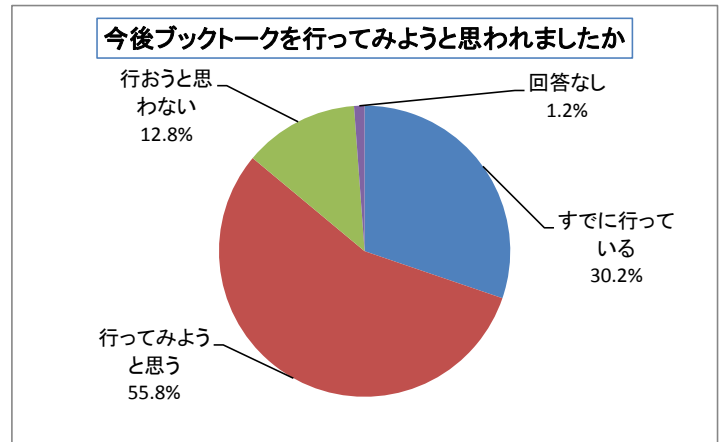
ブックトークという手法はご存じでしたか?

	認知度	人数	割合
1	よく知っていた	44	51.2%
2	あまり知らなかった	23	26.7%
3	知らなかった	18	20.9%
	回答なし	1	1.2%
合計		86	100%



Q4 今後、ブックトークを行ってみようと思われましたか？

	今後	人数	割合
1	すでに行っている	26	30.2%
2	行ってみようと思う	48	55.8%
3	行おうと思わない	11	12.8%
	回答なし	1	1.2%
合計		86	100%

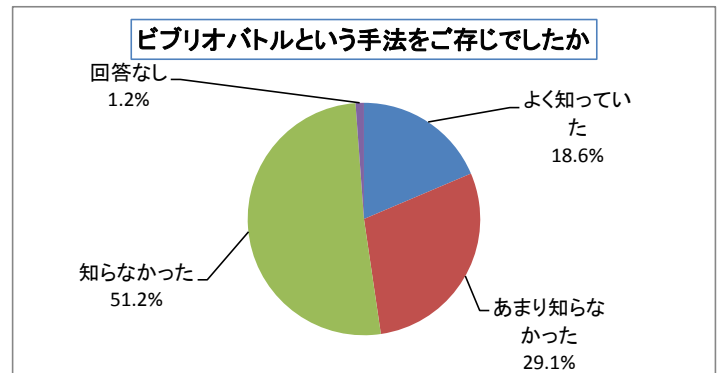


Q5 上記の質問で3と回答された方にお伺いします。その理由を教えてください。

- ・過去に図書館で勤務していたため。
- ・多くの本を知らないなので、イメージできない。
- ・人前で自分の言葉で話を面白くするというのは大変なことだと思ったので難しいと感じた。
- ・今のところやる機会がない。

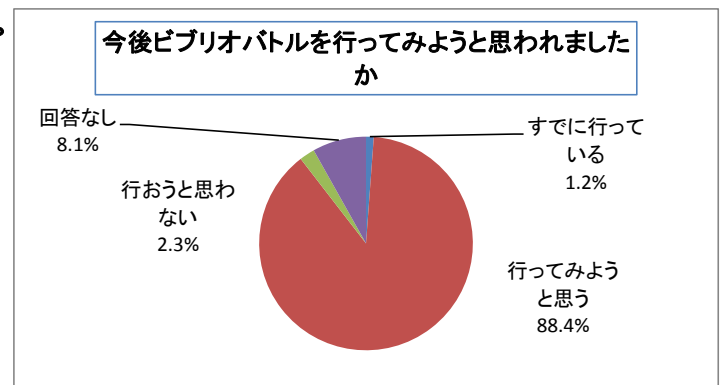
Q6 ビブリオバトルという手法をご存じでしたか？

	認知度	人数	割合
1	よく知っていた	16	18.6%
2	あまり知らなかった	25	29.1%
3	知らなかった	44	51.2%
	回答なし	1	1.2%
合計		86	100%



Q7 今後、ビブリオバトルを行ってみようと思われましたか？

	今後	人数	割合
1	すでに行っている	1	1.2%
2	行ってみようと思う	76	88.4%
3	行おうと思わない	2	2.3%
	回答なし	7	8.1%
合計		86	100%

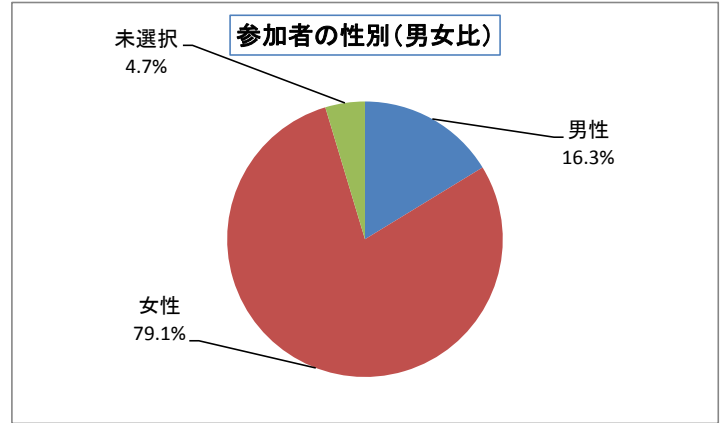


Q8 上記の質問で3と回答された方にお伺いします。その理由を教えてください。

- ・周囲に本を読む人を知らない。高齢のため。
- ・小学校対象のボランティアのため。

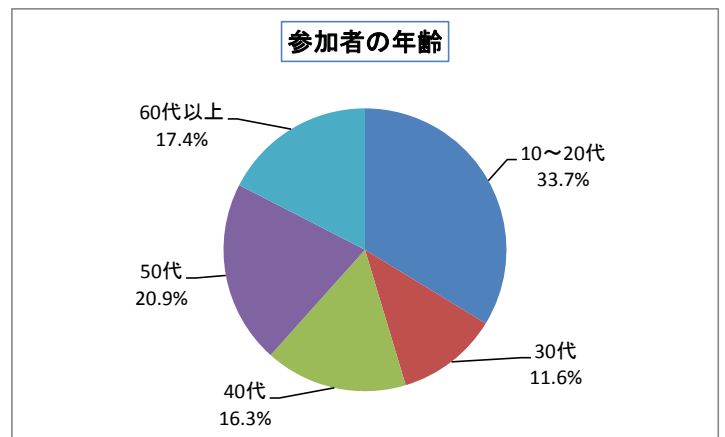
Q9 ・参加者の性別

	性別	人数	割合
1	男性	14	16.3%
2	女性	68	79.1%
3	未選択	4	4.7%
合計		86	100%



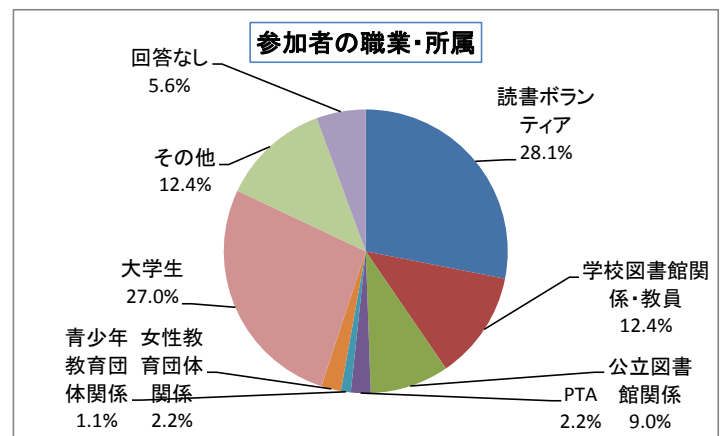
・参加者の年齢

	年齢	人数	割合
1	10～20代	29	33.7%
2	30代	10	11.6%
3	40代	14	16.3%
4	50代	18	20.9%
5	60代以上	15	17.4%
合計		86	100%



・参加者の職業・所属【複数回答あり】

	職業	人数	割合
1	読書ボランティア	25	28.1%
2	学校図書館関係・教員	11	12.4%
3	公立図書館関係	8	9.0%
4	PTA	2	2.2%
5	青少年教育団体関係	1	1.1%
6	女性教育団体関係	2	2.2%
7	公民館関係	0	0.0%
8	大学生	24	27.0%
9	その他	11	12.4%
10	回答なし	5	5.6%
合計		89	100%



※9 その他

- ・保育関係...1名 ・ボランティア...1名 ・絵本読み聞かせ...1名
- ・滋賀教師塾生...1名 ・環境学習支援員...1名 ・小学生...1名
- ・書店...1名 ・BT関係者...1名